

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月27日

上場会社名 群栄化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4229 URL <http://www.gunei-chemical.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有田 喜一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部門長 (氏名) 有田喜一郎

TEL 027-353-1810

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	9,290	△25.3	47	△89.1	120	△77.7	15	△96.0
21年3月期第2四半期	12,430	—	435	—	539	—	379	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	0.21	—
21年3月期第2四半期	5.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	44,058	33,480	74.2	466.03
21年3月期	45,380	33,106	71.3	460.75

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 32,699百万円 21年3月期 32,368百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	1.00	4.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

22年3月期の配当予想額は未定であります。[詳細は2ページ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項をご覧ください。]

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	△14.7	350	—	500	—	300	—	4.18

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

[除外 3社(社名 群栄商事株式会社、群栄ボーデン株式会社、日本カイノール株式会社)]

[[注] 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[[注] 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

[[注] 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	89,983,085株	21年3月期	89,983,085株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	18,140,694株	21年3月期	18,128,271株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	71,848,662株	21年3月期第2四半期	72,838,787株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断及び仮定した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

なお、期末配当予想につきましては、第3四半期以降も景気動向が不透明であるため、引き続き未定とさせていただきますが、今後の業績及び財政状態等を総合的に勘案したうえで、決定次第速やかに発表致します。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、在庫調整の進展により生産や輸出が持ち直し、大企業を中心とした企業業績の回復など底を打つ兆しを見せてきましたが、急激な円高により輸出関連への影響や設備投資の回復の遅れ、個人消費の低迷等による下振れのリスクを抱えており、依然として不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは、子会社3社の吸収合併及び製・販・技一体としたユニット制を導入し、販売体制の合理化を図り積極的な営業活動を行ってまいりました。

化学品事業においては、電子材料向け樹脂は中国特需等海外向けが好調に推移しましたが、自動車関連及び住宅関連向け樹脂の回復が依然として遅れ、在外子会社も低調に推移いたしました。

食品事業においては、期間後半は天候不順により伸び悩みましたが、前半は夏場に向けた飲料向け製品が好調に推移いたしました。

この結果、食品事業において増収となったものの、化学品事業が大きく減収となり、当社グループの売上高は9,290百万円と前年同期に比べ25.3%の減収となりました。

利益面では、合併の効果により一部コスト削減に努めてまいりましたが、売上高の減少、新工場稼働に伴う減価償却費等の経費増加により営業利益は前年同期比89.1%減の47百万円、経常利益は前年同期比77.7%減の120百万円、四半期純利益は前年同期比96.0%減の15百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べ1,322百万円減少し、44,058百万円となりました。これは設備投資による有形固定資産の増加があったものの、たな卸資産の在庫削減による減少及び有価証券の償還による減少、並びに借入金返済による現金の減少が主な要因であります。

負債合計は前連結会計年度末と比べ1,696百万円減少し、10,577百万円となりました。これは設備関係未払金の増加があったものの、借入金返済による減少が主な要因であります。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ374百万円増加し、33,480百万円となりました。これは配当金の支払による減少があったものの、有価証券の時価回復による評価差額金の増加が主な要因であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想及び配当予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ」及び「配当予想の修正等に関するお知らせ」を参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(主要な関係会社の異動)

前連結会計年度末において、当社の連結子会社であった群栄商事株式会社、群栄ボーデン株式会社及び日本カイノール株式会社は、平成21年4月1日付で当社が吸収合併したため、消滅しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降の経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,216	4,554
受取手形及び売掛金	5,211	5,485
有価証券	2,007	2,288
商品及び製品	1,466	1,656
仕掛品	42	17
原材料及び貯蔵品	574	602
その他	533	705
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	14,052	15,309
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,869	19,612
減価償却累計額及び減損損失累計額	△12,201	△11,925
建物及び構築物(純額)	7,667	7,686
機械装置及び運搬具	23,406	22,716
減価償却累計額及び減損損失累計額	△18,888	△18,142
機械装置及び運搬具(純額)	4,518	4,574
土地	7,639	7,639
リース資産	31	25
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4	△2
リース資産(純額)	27	22
建設仮勘定	459	67
その他	2,386	2,360
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,983	△1,919
その他(純額)	402	440
有形固定資産合計	20,714	20,431
無形固定資産	331	363
投資その他の資産		
投資有価証券	8,421	8,763
その他	906	887
貸倒引当金	△162	△169
投資損失引当金	△204	△204
投資その他の資産合計	8,960	9,276
固定資産合計	30,005	30,071
資産合計	44,058	45,380

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,332	2,293
短期借入金	1,600	2,600
1年内返済予定の長期借入金	750	1,400
未払金	1,717	1,599
未払法人税等	55	44
賞与引当金	162	135
その他	108	56
流動負債合計	6,725	8,128
固定負債		
長期借入金	2,400	2,775
退職給付引当金	967	955
環境対策引当金	6	6
負ののれん	64	77
その他	412	331
固定負債合計	3,851	4,145
負債合計	10,577	12,273
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	25,905	25,977
利益剰余金	6,604	6,589
自己株式	△4,704	△4,701
株主資本合計	32,805	32,864
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	115	△185
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△221	△310
評価・換算差額等合計	△106	△496
少数株主持分	781	738
純資産合計	33,480	33,106
負債純資産合計	44,058	45,380

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	12,430	9,290
売上原価	10,415	7,944
売上総利益	2,015	1,345
販売費及び一般管理費	1,579	1,298
営業利益	435	47
営業外収益		
受取利息	88	63
受取配当金	41	21
負ののれん償却額	13	13
持分法による投資利益	8	—
その他	40	38
営業外収益合計	190	136
営業外費用		
支払利息	46	36
持分法による投資損失	—	6
為替差損	19	12
その他	20	8
営業外費用合計	86	63
経常利益	539	120
特別利益		
償却債権取立益	25	—
貸倒引当金戻入額	0	0
特別利益合計	26	0
特別損失		
固定資産処分損	24	19
投資有価証券売却損	2	—
役員退職慰労金	3	—
特別損失合計	30	19
税金等調整前四半期純利益	535	101
法人税、住民税及び事業税	65	29
法人税等調整額	1	14
法人税等合計	66	43
少数株主利益	89	42
四半期純利益	379	15

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。